多様性って、何？

たようせいってなに？

最近、TVの情報やSNSなどで「多様性やジェンダー」という
コメントを見るなど多様性の話題に触れる機会が増えてきました。
生活の中でも「近くのコンビニエンスストアで外国の方が働いていて
驚いた」なんてことが日常となっていますね。

さらに、学校教育では、「制服を男性女性に分けることなく
個人の判断で選択して着用してよい」という学校も現れるように
なってきました。

では、多様性って何でしょうか？

DIVERSITY
BACKGROUND

多様性とは『異なる個性を持つ人が、集団の中にともに存在すること』を意味しています。

人には、産まれながらに持っている個性や、環境に影響を受け変化する個性があります。
具体的には、性別・年齢・人種・身分制度・国籍・宗教・障害の有無・性的指向・外見・趣味・価値観・文化的思考などがあります。

なかには、他者に理解されにくく、差別・抑圧の対象になることもあります。

多様性を認めるために、私たちができることは？
多様性を認めるとは、異なる個性を受け入れるということから始まります。受け入れるためには異なった個性の理解を深める必要があります。

多様性に向き合うときに、私たちは「無意識の偏見」を持っていることを意識しなければなりません。「無意識の偏見」とは物の見方や捉え方が自分でも気付かないうちに偏り、思い込んでしまうことです。つまり、お互いに個性を知ることが必要です。

多様性を認めるために、存在を否定せずに、お互いに一歩ずつ、歩み寄ってみましょう。

私たち、「社会福祉士会」はこの広報誌「Pocket」を通して、誰もが安心して暮らすために、多様性を尊重することの大切さをお伝えしたいのです。
多様性を認め合うことで、これまで社会のなかで生きづらさを感じていた人たちも、安心して暮らせるようになるでしょう。

誰もが安心して暮らせる社会が必要です。
「自分らしく生きやすい社会」をめざしましょう。